

質問議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧ください▶



門市長の6期目への心境は



住民目線の会
嶋下 博史

問 門市政の先進的な取組の効果が表れ、淡路市は、様々な面で脚光を浴びている。

合併時の危機的な財政状況から脱却し、様々な施策が相乗効果を生み、真に魅力ある地域となりつつあるが、これまでの市政運営の総括と、これからの歩みについて、6期目を踏まえた今の心境を伺う。

答 6期目の出馬を決意します

将来に責任を持つ時の首長としての責任を感じているところです。これからの4年間で淡路市にとって、本当の意味での新市のまちづくりであり、さらなる飛翔のための環境づくりが求められるものと感じています。これまでと同様にその責務を全うし、後継者の育成、大阪湾活性化構想、そして「いつかきつと帰

りたくなる街づくり」の実現に向け、6期目の出馬を決意いたします。



出馬表明する門市長



フィールドパビリオンでの線香と香りは



結いの会
長瀬 雅宏

問 ひょうごフィールドパビリオンで、線香と香りをどの様にアピールするのか。

答 香りの体験プログラムを提供

「2025年大阪・関西万博」を契機に、兵庫県が県全体をパビリオンとして、地域の皆さん自らが発信し、実際にその地を訪れ、見て、学び、体験する内容を、「兵庫県線

香協同組合」が実施主体となります。パルシェ香りの館、ei-to(エイト)、薫寿堂、淡路梅薫堂の施設で、「香りに愛された島、淡路島香る」をテーマに、独自の香りを調合できる線香づくり体験や現場見学、江井のまち歩き。「パルシェ香りの館」は香りをテーマに情報発信し、ハーバリウムやジェルキャンドル、香水などの手作り体験、香りと触れ合う癒し空間で、ゆったりした一日を過ごせます。

その他の質問
●学校のPTA活動について
●中山間地域を守るためには



白檀の甘く優雅な和の線香



「書かない窓口」を速やかに実施を



無会派
田中 孝始

問 都市整備部のみのGISを統合型GISに進化すべき。データを共有空間領域にて、地図情報を重ねることにより可視化され、部署間をまたがるような課題解決なり、政策につながるものと考えているが。

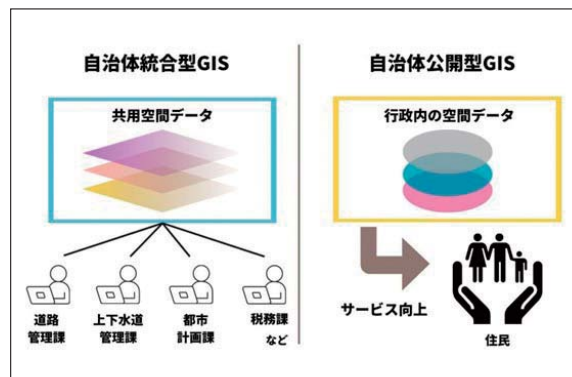
答 複数の地理データを統合的に管理・分析・可視化するシステムです。セキュリティやプライバシー等の課題もあり、導入自治体を参考しながら、検討を進めます。

問 統合型GISに移行後は、行政手続きのオンライン化「書かない窓口」につなげていき、市民が申請のためだけに市役所に出向くことがないようにすべきだ。

答 オンライン申請手続を推進します

全ての業務をオンライン化することは難しいですが、専門知識がなくても申請できるよう、簡単な申請から実

施していきます。今後も市民の利便性向上に努めてまいります。



統合型・公開型GISのイメージ



関西万博やインバウンドに対する備えは



淡路クラブ
岬 光彦

問 防犯カメラは高額で、淡路市の助成金は8万円、神戸市12万円、埼玉県20万円だ。関西万博を見据えた安全安心な街にするために防犯カメラの設置が必要だ。設置台数は。

答 防犯体制の強化を図ります

防犯カメラの設置には、心理的に犯罪を抑制する効果が期待されます。本庁や各事務所、小中学校

や保育所、市管理駐車場など、市内54施設に147台の防犯カメラを設置しています。

問 美しい街は犯罪が少ない。淡路市はゴミが多い。宿泊税をいただきゴミの減量キャンペーンや犯罪防止運動を行ってはどうか。

答 大阪、京都は宿泊税をいただいておりますが、兵庫県下では実績がないので検討課題とさせていただきます。

その他の質問
●新入職員の新人研修について
●サキアのコワーキングスペースの現状は



淡路市を守る防犯カメラ



急速な少子化で学校統廃合計画あり方は



結いの会
戸田 敦大

問 淡路市の最上位計画である「淡路市総合計画後期基本計画」では年間の想定出生数を250人としているが、令和5年度は168人と200人にも届いていないのが現状だ。現在小学校は11校ある。

現在も同級生のいない学年がある。誰のための学校か。学校は地域の財産でもあるが、学校の持つ機能も多様化していく中で残していくためには財政運営上可能なの

か。これ以上先延ばしにすることのできない課題だ。

答 児童数の減少は認識しています

学校は子どもたちが学びの場として提供するものですので、地域の方々にも学びの保障、学校教育の観点について御理解をいただきながら進めていくべきだと思います。再編計画の見直しについては保護者、地域の意

見を丁寧に吸収しながら必要な検討を行い、適切な対応を進めていきます。



加速する少子化



次期市長選出馬へと思うが決意は



淡路クラブ
松本 英志

問 市政施行以来今日迄進めて来た施策が実り今、本市には、より良い風が吹いている。これをさらに進展させることが市長に課せられた責務である。今後は学校再編への取組、県道市道の整備、給食費無償化、若者子育て世代への支援、高齢者弱者支援などやるべき施策がある。

今後も多用な要望に答え、次の4年間も休まることはない。そし

て次はスムーズに市政を担う人材を、育てるか確保することが永きに渡り、市政を牽引してきた市長としての評価につながると考えるが。

答 今一度市政を担い次へとつなぐ

来年で合特債の発行も終わります。厳しい財政状況を打破しつつ市民要望には真摯に対応していきます。

そして一人立ち出来る市へと導くことが私の責任である

と感じています。次の人材を育てることは、大切なことでもあります。



明確に出馬表明をする門市長